

三田市長

2021年11月26日

森 哲男様

全日本年金者組合三田支部
支部長 [REDACTED]

要 望 書

1. はじめに

市政運営にご精励のことに敬意を表します。

私たちは、高齢者が健康で安心して生活が送れる社会の実現と、各種の交流事業を通じて楽しく元気がでる活動を続けている組織です。

今、国の政治のもと、医療費削減計画の中で病院の統廃合によるベッド数の削減。高齢者の医療費の窓口負担の増や年金額の引き下げなど、介護・医療、生活の面で厳しい状況におかれています。

いま、コロナの感染者が減少したとはいえ、第6波にそなえた自治体独自の対策も求められています。地方自治体として市民の命と健康、安心・安全を第1に暮らしと営業を守る対策とともに、市民の声に耳を傾け、暮らしを応援する市政へ、その役割を果たされるよう強く要望します。

つきましては、組合員から寄せられた声をまとめ、以下の通り要望します。ご検討のうえ誠意ある回答をお願いします。

要 望 事 項

(1) コロナ禍のもとで市の取り組みについて

- ① コロナの感染者が減少したとはいえ、第6波にそなえた対策が必要だと思えます。三田市において、現在のワクチン接種状況と、3回目のワクチン接種について、今後のスケジュールと予約方法や接種会場について市はどのように対応されようとしているのか。

(2) 三田市民病院を公立として存続させ医療体制の充実を図ること

- ① 市民病院の「統廃合」や「民営化」を行わず、現在地で市立病院として存続し、夜間の救急医療体制の充実や待ち時間の短縮など患者の立場にたった改善をはかること。

(3) 国保税の負担軽減をはかること

- ① 被保険者の世帯人数が多い世帯や所得の低い世帯ほど負担の重い、「均等割」、「平等割」を廃止し国保税の負担軽減を図るため、国に対し制度改正と国の負担増を求めること。
- ② 「所得の激減」を「5割」から「3割」に拡大するなど市独自の減免制度を充実させること。市独自の減免については、被保険者の負担ではなく、市の一般会計で負担すること。

(4) 介護制度の改善・充実と高齢者福祉対策を急ぐこと

- ① 基金を活用して介護保険料の負担軽減をはかること。
- ② 必要な介護や要支援1・2が利用する通所型サービスB施設（高齢者ふれあいディサービス）の全市的な設置への支援など市独自の支援策を設けること。
- ③ 深刻な老々介護の実態を把握し、負担軽減策を講じること。

(5) 高齢者および交通対策の強化をはかること

- ① 「高齢者交通費助成」の助成額を増額すること。また、JRへの利用拡大をはかること。
- ② 市の責任で、「コミュニティバス」の運行や「デマンドタクシー」の導入など外出を支援すること。
- ③ 新三田駅にエスカレータの設置をJRに求めること。

(6) 高齢者の交流とゴミ出し支援策の充実

- ① 敬老会への助成金を復活すること
- ② ゴミ出し困難者への戸別収集を実施すること
- ③ 加齢性難聴者への補聴器購入補助制度を導入すること。

以上